

藝州嚴島図絵の府中 上卿田所氏

国立公文書館内閣文庫「**風楓文書纂**」 嚴嶋神社定勅使祭主田所主税元教家文書所収

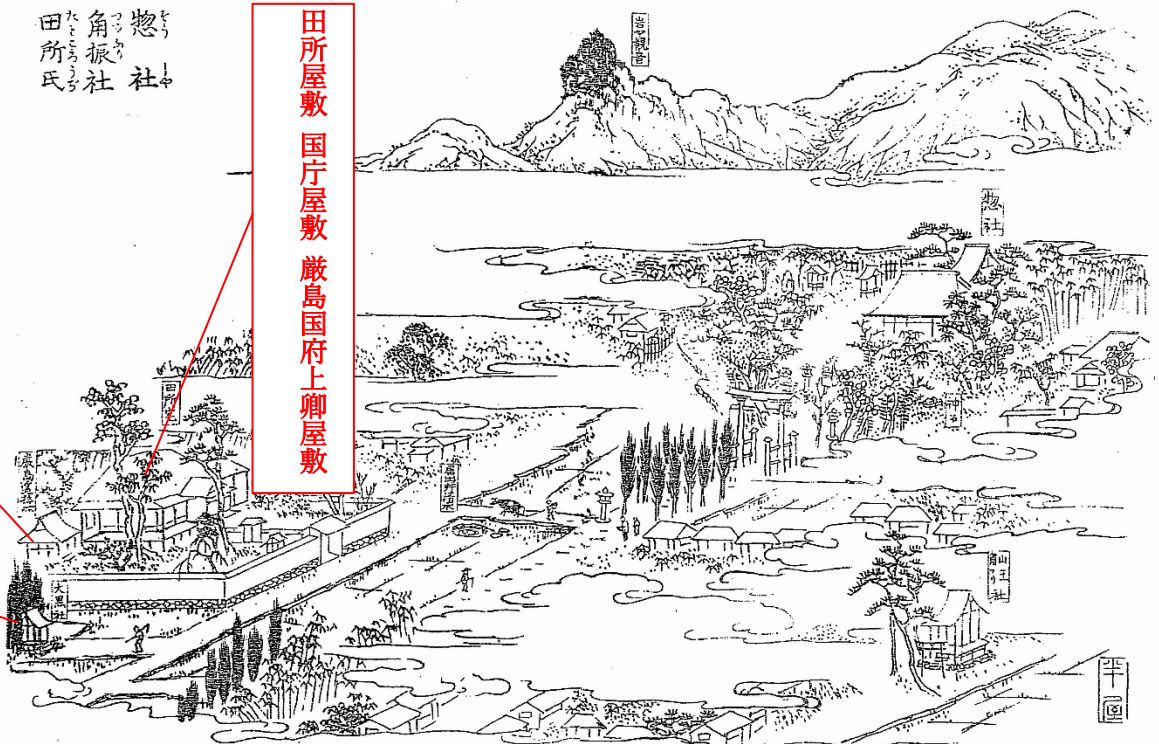
国立公文書館内閣文庫「**風楓文書纂**」 嚴嶋神社定勅使祭主田所伊織元俊家文書所収

広島県重要文化財紙本墨書「**田所文書**」 安藝 國衙領 注進状一卷 沙弥讓状一卷所蔵

平安時代頃より田所屋敷は国庁屋敷と 嚴嶋国府上卿屋敷としての機能を備えていた。田所信職の時代の一〇二七年頃から、嚴嶋遙拝所として国廳神社と槻瀨明神が祀られていた。

嚴嶋遙拝所「**国廳神社**」 槻瀨明神 注『芸藩通史』卷二、五三二頁。」大黒社の三社の御祭神を合祀し、田所明神社とした。

左の図は嚴島図絵巻之四 府中上卿田所氏



田所屋敷 国庁屋敷 嚴嶋国府上卿屋敷

嚴嶋遙拝所(国廳神社・槻瀨明神)

大黒社

注「**国史大辞典**」によると府中村は國府の地なりと。

『芸州府中荘誌』村の北方石井城に**国廳屋敷**と呼ぶ地あり**国廳神社** 字石井城**国廳屋敷** 田所屋敷内に田所信職の時代、一〇二七年頃、**国廳内**に神社を設け**廳員**一同、朝夕禮拜したものか。

注『**芸藩通史**』卷二、五三二頁。田所氏の宅後に**神石**あり、つきのかみと称して、毎年正月三日、十二月晦日、燈を献じて之を祭る。**槻瀨明神**は『**芸藩通史**』名神考 安芸国神名帳に正二位五前の位階とある。

最後の正三位上嚴嶋神社両度初申之神事定勅使**国府上卿**役祭主兼府中村南八幡別宮北惣社も嚴嶋と同様定勅使祭主で、後の**多家神社・埃宮** 社司 田所元善竹槌は大正五年十一月、**嚴嶋遙拝所**「**国廳神社**・**槻瀨明神**」**大黒社**の三社の御祭神を合祀し、**田所明神社**とした。

初申ノ御神事定勅使上卿役祭主田所元朝 通称大進が田所屋敷境内の大破した**神殿** 嚴嶋遙拝所の再建を、天保四年に宮島奉行所へ願ひ出た。宮島奉行小野彦之丞が宮島の御山所において必要な用材を伐り渡し、又資金等の便宜も図った。この古文書を田所家が所蔵している。『**府中田所鎮守社(嚴嶋国府上卿屋敷神殿)田所家文書**』五 宮島奉行 小野彦之丞